

報道関係各位  
企画展のご案内

「小さなおばけ」から「魔女の宅急便」まで



© Eiko Kadono, Yoko Sasaki / POPLAR



国際アンデルセン賞受賞記念展

# 角野栄子の魔女

令和2年 **7.26**日 → **9.13**日

開館時間 / 9:30~18:00 (観覧受付は17:30まで)  
休館日 / 毎週火曜日 ※7月27日(月)、8月11日(火)は開館  
観覧料 / 一般500円(400円)、大学生250円(200円)、  
前売り・一般400円 (裏面をご覧ください)

※( )内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。  
※次の方は、常設展・企画展ともに無料で観覧できます。  
小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方。

主催 / 高志の国文学館 共催 / 北日本放送 後援 / 富山新聞社  
特別協力 / 角野栄子オフィス  
協力 / こどもの広場、ポプラ社、福音館書店



Illustrations © Miho Satake / FUKUINKAN

高志の国文学館  
KOSHINOKUNI  
Museum of Literature

展覧会チラシ

広報に関するお問い合わせ：高志の国文学館 事業課 佐藤・高瀬・旦尾  
〒930-0095 富山県富山市舟橋南町 2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490

## Summary

大学時代の恩師・龍口直太郎氏の薦めにより、34歳で執筆を始めた角野栄子は、苦しみながら何度も書き直すうちに、やがて書くことが本当に好きな自分を発見し、毎日何かを書くことが楽しくなっていきます。「自分が楽しくなければ、読む人だって楽しくないにちがいない」と語る角野。世の中のいろんなことから自由になって、最初から形を決めずに作り出された作品たちは、読む者の想像力を刺激し、思わずワクワクしてしまう魅力に溢れており、世代を超えて愛されています。

角野の国際アンデルセン賞・作家賞受賞を記念して行う本展では、豊かな想像力とユーモアに支えられた多彩な作品群を紹介し、印象に残る物語との出会いとなる企画展を目指します。

## Profile

**角野 栄子** かどの・えいこ

作家・翻訳家 1935年1月1日生まれ 東京都江東区出身



画像提供  
角野栄子オフィス

質商を営む父と母の間に生まれる。5歳で生母と死別。太平洋戦争による疎開を経験して育つ。早稲田大学教育学部英語英文学科に進み、出版社勤務を経て1959年、自費移民としてブラジルへ渡航、約2年を過ごす。1970年、大学時代の恩師の薦めによりブラジルでの体験をもとにした『ルイジニョ少年 ブラジルをたずねて』（ポプラ社）を執筆、デビュー作となる。その後も創作を続け、『わたしのママはしずかさん』（偕成社）、『ズボン船長さんの話』（福音館書店）で路傍の石文学賞、『魔女の宅急便』（福音館書店）で野間児童文芸賞と小学館文学賞を受賞する。童話、絵本、物語、翻訳などの各分野で幅広く活躍。その業績に対し、2011年に巖谷小波文芸賞、2013年に東燃ゼネラル児童文化賞、2018年に国際アンデルセン賞・作家賞が贈られた。『スパゲッティがたべたいよう』に始まる「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおぼけシリーズ」やスピンオフを含む8作品が発表された「魔女の宅急便シリーズ」など、世代を超えて長く愛される作品を多く持つ。

## Outline

展覧会名	国際アンデルセン賞受賞記念展 角野栄子の魔女		
会 期	2020年（令和2年）7月26日（日）～9月13日（日）		
会 場	高志の国文学館 〒930-0095 富山県富山市舟橋南町2-22 TEL 076-431-5492 / FAX 076-431-5490 <a href="http://koshibun.jp">http://koshibun.jp</a>		
開館時間	9:30～18:00（観覧受付は17:30まで）		
休 館 日	毎週火曜日（7月27日〔月〕、8月11日〔火〕は開館）		
観 覧 料	一般500円（400円）、大学生250円（200円） ※（ ）内は20人以上の団体料金。企画展観覧券で常設展もご覧いただけます。 ※小・中・高校生及びこれに準ずる方、各種障害者手帳をお持ちの方は無料。		
主 催	高志の国文学館	共 催	北日本放送
後 援	富山新聞社	特別協力	角野栄子オフィス
協 力	こどもの広場、ポプラ社、福音館書店		
展覧会担当	高志の国文学館事業課 主任 旦尾紘一（あさお・こういち）		

## Theme

### 想像する心が、扉を開ける

5歳で母親を亡くし、深い悲しみの底にいた角野を支えたのは、父が読んで聞かせてくれる物語でした。『宮本武蔵』や『ジャン・バルジャン』などを何度も繰り返し話してくれたと言います。一回で終わらせず、話の続きを残す父。角野は次第に自分の想像する物語と、父の語る物語との間を行き来しながら楽しむようになります。

面白い世界に出会いたいとき、また不安でたまらないとき、物語はまちがいをなく、力を貸してくれる。扉をあけて、物語の世界を歩き、やがて物語が終わっても、読んだ人の心の中で、その先の扉がまた開く。それは物語の世界にかぎらない。想像する心があれば、もう開かないと思っても、開かない扉はない。

(『ファンタジーが生まれるとき「魔女の宅急便」とわたし』岩波ジュニア新書より)

### 物語を、なんとか楽しいものになりたい

子どもが大人からの読み聞かせによって本に触れる機会を「聞き書」と捉える角野は、やがては自分で本を読む「読書」になっていってほしいと願っています。また「聞き書」から「読書」への橋渡しをするのが「小さな物語たち」であり、なんとか楽しいものになりたいと考えています。

それまで聞いてばかりいた子どもたちが、自分で読むのは、ちょっと苦勞なくちゃいけないと思うけど、でも、その苦勞をふっとばすようなおもしろいものを、私たちは書きたいし、子どもたちが読んでくれればいいなと思っています。

(『角野栄子さんと子どもの本の話しよう』講談社より)

## Topics

- 1 貴重な**自筆原稿**や**創作ノート**のほか、**世界中を旅して集めた魔女の人形**などを公開。**物語が生まれる瞬間**を感じられる展示。
- 2 様々な作品の**挿絵原画が集合**。「魔女からの手紙」(ポプラ社)、「魔女の宅急便」シリーズ(福音館書店)、「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ」(ポプラ社)から、**総勢15名の画家の作品を一堂に公開**。
- 3 「**魔女**」と「**おばけ**」、**2つの世界を体感できる、館全体を使った展示**。展示室では「魔女の宅急便」の主人公キキの住む部屋やコリコの町のイメージを再現。万葉の庭にはアッチとその仲間たちが潜み、「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ」の作品に関するクイズに挑戦。
- 4 **見るだけではなく、参加しても楽しい企画展**として、会期中、魔女に向けて書いた手紙やおばけ料理のイラスト、魔女に変装した写真など、**作品を広く募集**。会場設置のポストからご応募いただいた方には**特製ポストカードのプレゼント**も。
- 5 文学館併設の「**シェ・ヨシ**」と**タイアップ**し、作品にちなんだ**テイクアウトメニューを提供**。

## Events

### (1) 佐竹美保ワークショップ「描いてみよう、わたしは魔女一なにに乗って飛ぶ？」

〔講師〕佐竹 美保 氏 (画家)

〔日時〕8月29日(土) 1回目:10:30~11:30 2回目:13:30~14:30

〔会場〕当館研修室 101

〔対象〕中学生以上(但し中学生以上の方と同伴の場合は、小学生も可)

◎申込必要 ◎参加無料 ◎定員/各回につき親子10組

※イベント終了後に佐竹先生のサイン会を実施します。(サイン会のみ参加も可)

- ・10組ずつ、2グループに分けて実施します。
- ・佐竹先生によるアドバイスのあと、参加者それぞれの思い描く「魔女」を1枚の大きな紙に自由に描いていただきます。(描いた絵は会期中会場内に展示)
- ・黒い絵の具、黒マジックなどのほか、太く描けるもの(たわしや歯ブラシなど)と、汚れても良いエプロンをご持参ください。

### (2) 作品募集

- ・会期中、作品を募集します。ご応募いただいた作品は、会場内に掲示、もしくはスライドにて上映し、ご紹介させていただきます。なお、原則として、作品のご返却はいたしません。
- ・下記テーマのうち、いずれかの作品をご応募ください。

【A】 ねえねえ聞いて!魔女への手紙

→魔女に聞いてほしいお話を、絵と文で。

【B】 あったらいいな!私の食べてみたいおばけ料理

→料理のイラストとメニュー名、簡単な説明を添えて。

【C】 みんなに見せて!トヤマ マジョ コレクション 2020

→年齢、性別は不問。思い思いの「魔女」に変装し、写真を郵便で。

《補足A・B》応募方法は会場内設置のポスト投函、もしくは郵送となります。応募用紙は会場内に設置してあるもの、もしくは文学館ホームページから様式をダウンロードの上、印刷してご利用ください。会場内のポストからご応募いただいた方には、その場で特製ポストカードをプレゼントします。

《補足C》応募方法は郵送のみとなります。「魔女ネーム」を添え、下記の係へお送りください。

〈送り先〉「高志の国文学館 角野展マジョ・コレ係」

### (3) コラボレーション企画「アッチ Café de シェ・ヨシ」

- ・小さなおばけシリーズに登場するアッチのおばけ料理を、文学館に併設する「シェ・ヨシ」の毛利義信シェフがアレンジして再現。会期中、ランチボックスなどのテイクアウトメニューで楽しむことができます。

※ 事前予約制となります。

### (4) 企画展担当者によるスライド・ビュー (展示解説)

〔日時〕① 8月11日(火) ② 8月30日(日) ③ 9月12日(土)

各回 14:00~(30分程度)

〔会場〕当館研修室 101

◎申込必要 ◎参加無料

#### ■申込方法

電話・FAXにて、イベント名・番号(複数可)と氏名、電話番号を当館までお知らせください。

※定員に達し次第、募集を終了します。

※FAXでお申し込みの方には、定員に達してご参加いただけない場合のみ、当館からご連絡いたします。



# Highlight

## ■主な出品資料

### ●導入部

- ・【写真】「魔女に会った」（福音館書店）関連パネル13点

### ●第1章 魔女の世界

- ・【絵画】荒井良二「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画3点
- ・【絵画】ディック・ブルーナ「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】いとうひろし「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】和田誠「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】市川里美「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】黒井健「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】橋本淳子「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】国井節「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】西巻茅子「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】スーザン・バーレイ「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】太田大八「魔女からの手紙」（ポプラ社）原画2点
- ・【絵画】くぼしまりお『『魔女の宅急便』を書くもとなった、娘さんが描いた絵』原画1点
- ・【絵画】林明子「魔女の宅急便」（福音館書店）原画18点
- ・【絵画】広野多珂子「魔女の宅急便 その2 キキと新しい魔法」（福音館書店）原画2点
- ・【絵画】佐竹美保「魔女の宅急便 その3 キキともうひとりの魔女」（福音館書店）原画3点
- ・【絵画】佐竹美保「魔女の宅急便 その4 キキの恋」（福音館書店）原画4点
- ・【絵画】佐竹美保「魔女の宅急便 その5 魔法のとまり木」（福音館書店）原画2点
- ・【絵画】佐竹美保「魔女の宅急便 その6 それぞれの旅立ち」（福音館書店）原画5点

### ●第2章 おばけの世界

- ・【絵画】佐々木洋子「スパゲッティがたべたいよう」（ポプラ社）原画3点
- ・【絵画】佐々木洋子「おばけのアッチとドララちゃん」（ポプラ社）原画5点
- ・【絵画】佐々木洋子「おばけのアッチとドラキュラスープ」（ポプラ社）原画4点
- ・【絵画】佐々木洋子「おばけのアッチ パン・パン・パンケーキ」（ポプラ社）原画5点
- ・【絵画】佐々木洋子「おばけのアッチとくものパンやさん」（ポプラ社）原画4点
- ・【絵画】佐々木洋子「おばけのアッチ スパゲッティ・ノックダウン」（ポプラ社）原画4点
- ・【絵画】佐々木洋子「アッチとドッチのフルーツポンチ」（ポプラ社）原画4点
- ・【絵画】佐々木洋子「おばけのアッチ おもっちでおめでとう」（ポプラ社）原画4点
- ・【その他】「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ」（ポプラ社）食玩3点

### ●第3章 角野栄子 創作のひみつ

- ・【愛用品】「世界中を旅して集めた魔女の人形」
- ・【原稿】「ルイジンニョ少年」（ポプラ社）
- ・【原稿】「魔女の宅急便」（福音館書店）
- ・【手帳】「黒革の手帖」
- ・【絵画】角野栄子 画「ほうきと少女」原画1点

### ●「国際アンデルセン賞」関連資料

- ・【一枚物】「国際アンデルセン賞・作家賞 賞状」
- ・【一枚物】「国際アンデルセン賞・作家賞 メダル」
- ・【映像資料】「国際アンデルセン賞 授賞式当日の記録映像」（DVD）

# Images



1 展覧会チラシ



2 国際アンデルセン賞受賞決定後の会見にて  
写真提供：角野栄子オフィス



3 ブラジル滞在時のアパートにて  
写真提供：角野栄子オフィス

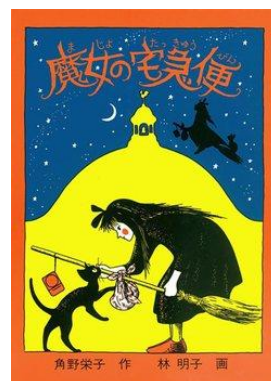


4 『魔女からの手紙』書影

©角野栄子 荒井良二 ディック・ブルーナ いうひろし  
大島妙子 鴨沢祐仁 和田誠 市川里美 五味太郎  
黒井健 児島なおみ スズキコージ 橋本淳子 国井節  
長新太 高林麻里 宇野亜喜良 西巻茅子 杉浦繁茂  
スーザン・バーレイ 太田大八 他/ポプラ社



5 「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ」  
40周年記念ロゴマーク  
©角野栄子・佐々木洋子/ポプラ社



6 『魔女の宅急便』書影  
角野栄子・作 林明子・画 福音館書店

## 高志の国文学館企画展

## 「国際アンデルセン賞受賞記念展 角野栄子の魔女」

## 広報用画像貸出申請書

高志の国文学館事業課 広報担当 行

FAX 076-431-5490

展覧会広報用の画像を貸出しております。ご希望の際は、下記の貸出条件をご確認のうえ、本書に必要事項をご記入いただき、FAX または E-mail にてお申込ください。E-mail の添付にて JPEG データで画像をお送りいたします。

## 【広報用画像貸出条件】

- ◎画像は展覧会紹介の目的のみにてご使用ください。
- ◎画像のトリミングや、画像に文字を重ねるレイアウトはお控えください。
- ◎画像データは、ご使用後かならず破棄してください。
- ◎画像データを第三者に渡すことを禁じます。
- ◎インターネット上へ掲載する際には、画像をコピーできないよう処置してください。

御社名 : \_\_\_\_\_

御担当者名 : \_\_\_\_\_

E-mail アドレス : \_\_\_\_\_

電話 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

掲載誌名・番組名・Web サイト名 : \_\_\_\_\_

発行・放映・掲載予定日 : \_\_\_\_\_

申込画像（ご希望の画像をチェックしてください。）

- 画像 1 展覧会チラシ
- 画像 2 国際アンデルセン賞受賞決定後の会見にて **写真提供：角野栄子オフィス**
- 画像 3 ブラジル滞在時のアパートにて **写真提供：角野栄子オフィス**
- 画像 4 『魔女からの手紙』書影 **◎角野栄子・荒井良二ほか19名／ポプラ社**
- 画像 5 「アッチ・コッチ・ソッチの小さなおばけシリーズ」40周年記念ロゴマーク **◎角野栄子・佐々木洋子／ポプラ社**
- 画像 6 『魔女の宅急便』書影 **角野栄子・作 林明子・画 福音館書店**

◎画像 2～6 をご使用の際は、それぞれの所蔵者名または著作権者名が分かるように、**赤字でお示しした部分を必ず明記願います。**